



# 株式会社UKCホールディングス 2012年(平成24年)3月期決算 補足説明資料

---

2012年5月9日



株式会社 UKCホールディングス

---





# 目次

---

事業セグメント	3
2012年3月期 ハイライト	4
2012年3月期 半導体及び電子部品事業	5
2012年3月期 電子機器事業	6
2012年3月期 システム機器事業	7
2012年3月期 財政状態(バランスシート)	8
2012年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)	9
2013年3月期 通期連結業績予想	10



# 事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品
半導体及び 電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、 その他半導体
	電子部品	液晶パネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、 タッチパネル、複合部品、その他一般電子部品
	EMS	電子機器受託製造サービス(Electronic Manufacturing Service)
	その他	LED照明
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、ビデオプリンター、音響映像関連機器
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア
システム機器事業	産業電子機器及び 伝送端末機器	非接触ICカード (FeliCa) R/Wモジュール、 リモコン電子キーシステム、医療用監視システム、 セキュリティシステム
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料



# 2012年3月期 ハイライト

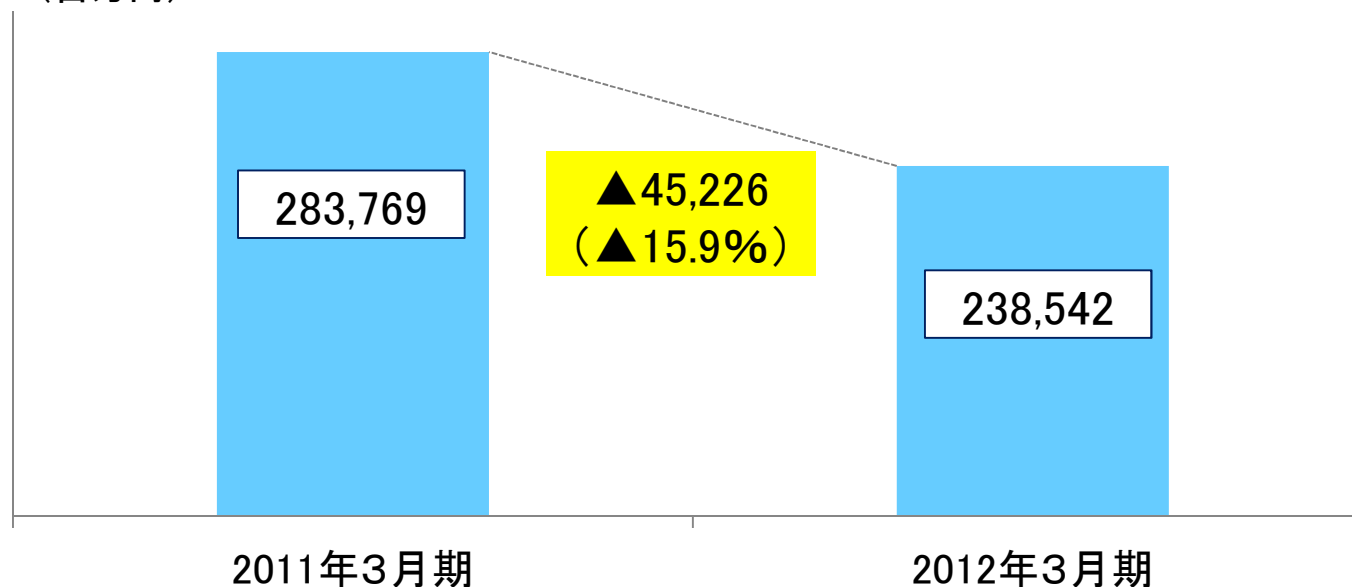
(単位:百万円)	2011年3月期		2012年3月期		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	303,585	100.0%	257,088	100.0%	▲46,496	▲15.3%
売上総利益	16,314	5.4%	16,665	6.5%	+350	+2.1%
SGA	11,883	3.9%	11,275	4.4%	▲607	▲5.1%
営業利益	4,431	1.5%	5,389	2.1%	+957	+21.6%
経常利益	3,861	1.3%	5,008	1.9%	+1,147	+29.7%
当期純利益	2,314	0.8%	2,722	1.1%	+408	+17.7%

- ▶ 売上高: 前年比▲464億円(▲15.3%)  
 減収要因: サムスン製半導体・電子部品ビジネスの事業譲渡の影響(▲479億円)  
 震災やタイ洪水の影響による主にデジタルスチルカメラ向けの半導体・電子部品売上の減少等  
 増収要因: スマートフォン向け電子部品販売やLED照明事業の増収
- ▶ 売上総利益: 前年比+3.5億円(売上総利益率+1.1%)  
 スマートフォン向け商材、LED照明や業務用放送機器等の高付加価値商材の売上比率が拡大  
 売上高減収をカバーし、売上総利益は前年比増加
- ▶ 営業利益、経常利益: 売上総利益増に加え、事業譲渡に伴うSGA減少や為替差損の改善で共に前年比大幅増
- ▶ 当期純利益: 前年比+408百万円(+17.7%)  
 厚生年金基金脱退特別掛金(481百万円)等の事業会社統合費用や税制改正等に伴う税金費用等を  
 吸収し、増益

# 2012年3月期 半導体及び電子部品事業



(百万円)



セグメント利益(百万円)

5,807

6,802

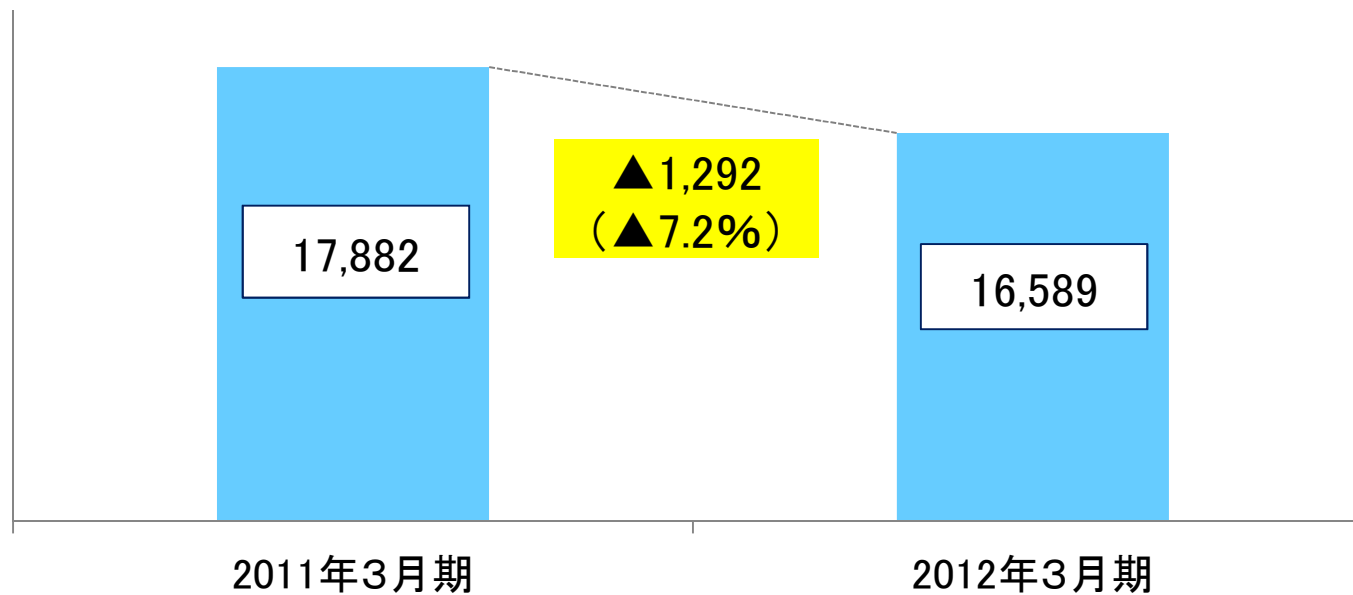
- ソニー半導体、電子部品：上期の震災影響に加えて、タイ洪水の影響に伴う商材の調達難と顧客の生産減により、売上減少
- サムスン半導体、電子部品：7月に丸文セミコンへ事業譲渡
- その他：スマートフォン向けタッチパネル、車載向け液晶パネルが好調に推移  
サムスンLED社製LED照明ビジネス、中国EMS自社工場の液晶モジュール基板実装も貢献
- 高付加価値商材の売上割合が拡大したことにより、セグメント利益は前年比増



# 2012年3月期 電子機器事業



(百万円)



セグメント利益(百万円)

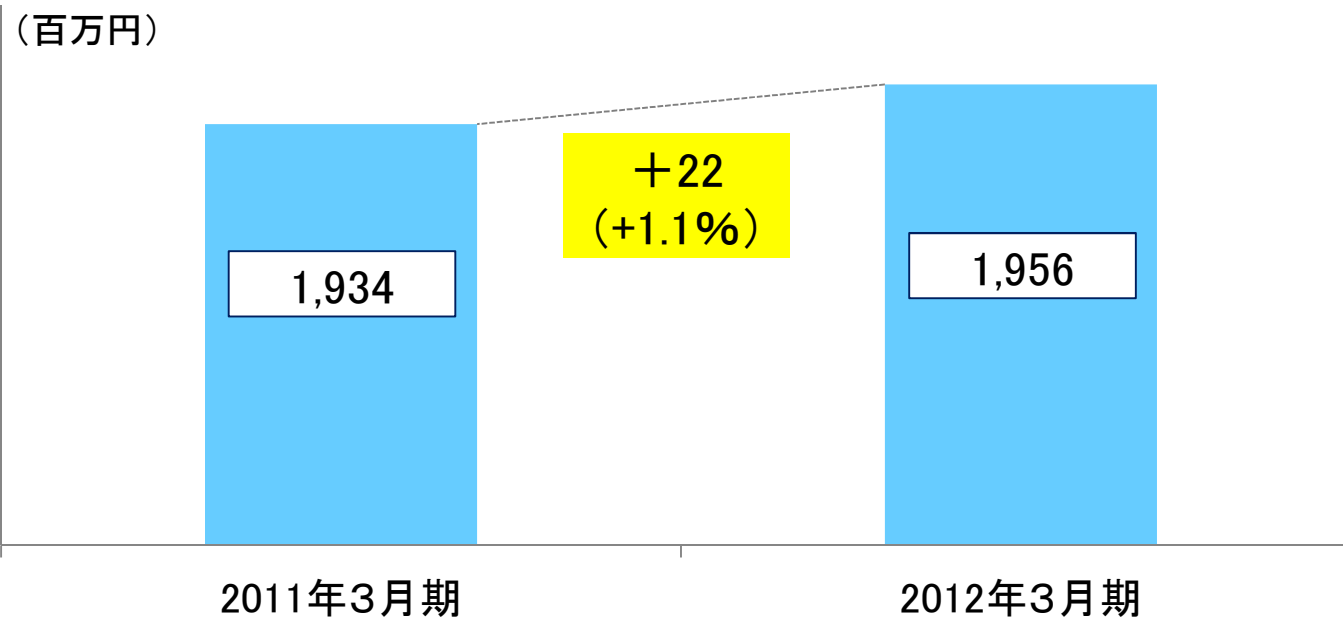
337

404

- 業務用電子機器ビジネス  
震災による調達遅滞で放送用テープメディアや放送機器の販売減があったものの、4QにCATV放送局等顧客の設備投資が回復
- イメージセンシングビジネス  
震災及びタイ洪水の影響による商品供給減と半導体製造装置メーカー向けの販売減により停滞
- 構造改革に伴う経費削減効果により、セグメント利益は前年比増



# 2012年3月期 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

▲33

172

- ▶ 非接触ICカード関連ビジネス  
PCへのFeliCaモジュール搭載は減少。震災影響による一部顧客の新規案件延期等も影響し、前年比減
- ▶ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス  
試験数、新規案件共に好調に推移したほか、タイ洪水影響によるスポット試験受注も寄与
- ▶ 利益率の向上と経費の削減効果により、セグメント利益は前年比増



# 2012年3月期 財政状態(バランスシート)

(単位:百万円)		11/3月末	12/3月末
現預金		14,753	17,925
売上債権		69,763	61,015
棚卸資産		19,865	16,892
その他		4,280	3,627
<b>流動資産計</b>		<b>108,661</b>	<b>99,461</b>
<b>固定資産計</b>		<b>5,250</b>	<b>4,923</b>
<b>総資産</b>		<b>113,912</b>	<b>104,385</b>

仕入債務		46,484	38,837
短期借入金※		19,251	15,514
その他		3,360	4,252
<b>流動負債計</b>		<b>69,097</b>	<b>58,605</b>
長期借入金		4,515	4,865
その他		1,604	1,243
<b>固定負債計</b>		<b>6,120</b>	<b>6,108</b>
<b>純資産</b>		<b>38,694</b>	<b>39,671</b>

<b>自己資本比率</b>	<b>33.0%</b>	<b>37.7%</b>
---------------	--------------	--------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	▲9,527	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上債権 ▲ 8,747百万円</li> <li>・棚卸資産 ▲ 2,972百万円</li> <li>・現預金 + 3,172百万円</li> </ul>
負債	▲10,503	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入債務 ▲ 7,647百万円</li> <li>・短期借入金 ▲ 3,736百万円</li> </ul>
純資産	+976	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期純利益 2,722百万円</li> <li>・利益剰余金からの配当 ▲560百万円(少数株主への支払含む)</li> <li>・その他の包括利益累計額の変動額 ▲426百万円</li> <li>・少数株主持分の変動額 ▲788百万円</li> </ul>
自己資本比率	+4.7%	総資産圧縮に伴い33.0%から37.7%に改善



# 2012年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)

(百万円)	11年3月期	12年3月期	主な増減要因
営業 CF	▲7,662	2,385	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上債権の減少 8,370百万円</li> <li>・税金等調整前当期純利益 4,834百万円</li> <li>・仕入債務の減少 ▲6,857百万円</li> <li>・たな卸資産の増加 ▲2,968百万円</li> <li>・法人税等の支払額 ▲1,750百万円</li> </ul>
投資 CF	746	5,027	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サムスン半導体事業譲渡による収入 5,776百万円</li> <li>・定期預金の払戻しによる収入 1,260百万円</li> <li>・投資有価証券の売却による収入 624百万円</li> <li>・定期預金の預入による支出 ▲1,320百万円</li> <li>・子会社株式の取得による支出 ▲652百万円</li> <li>・有形固定資産の取得による支出 ▲648百万円</li> </ul>
財務 CF	10,968	▲3,980	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転資金のための短期借入金の減少 ▲3,297百万円</li> <li>・配当金の支払額(少数株主への支払含む) ▲560百万円</li> </ul>
現金及び 現金同等物	13,653	16,765	

# 2013年3月期 通期連結業績予想



(単位:百万円)	2012年3月期 (実績)		2013年3月期 (予想)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	257,088	100.0%	275,000	100.0%	+17,911	+7.0%
売上総利益	16,665	6.5%	16,700	6.1%	+34	+0.2%
SGA	11,275	4.4%	11,000	4.0%	▲275	▲2.4%
営業利益	5,389	2.1%	5,700	2.1%	+310	+5.8%
経常利益	5,008	1.9%	5,300	1.9%	+291	+5.8%
当期純利益	2,722	1.1%	3,100	1.1%	+377	+13.9%

## ➤ 市場環境

スマートフォンや新興国におけるデジタル家電等の需要が引き続き堅調。自動車関連需要も回復

## ➤ 売上高: 前年比+179億円(+7.0%) (事業譲渡の影響を除くと+320億円)

増収要因: 震災、タイの洪水等の特殊要因の剥離(高級デジタルスチルカメラ向け販売、電子機器販売回復)

中国のEMS自社工場が通期で寄与

減収要因: サムスン半導体・電子部品事業の譲渡(▲141億円)

## ➤ 営業利益: 前年比+3.1億円(+5.8%), 経常利益: +2.9億円(+5.8%)

市場競争等に伴うリスクを売上総利益率に織り込み。事業譲渡に伴うSGA削減効果が通期で寄与

## ➤ 当期純利益: 前年比+3.7億円(+13.9%)

経常利益増に伴い、増益

## ➤ 期末配当金予想: 1株あたり35円





株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

